

令和5年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧

昼間課程:美容師養成科

課 目		標準授業時間数 (単位数)	担当教員	実 務 経 験
必修 課 目	関係法規・制度	30(1)	犬飼 繁	美容師養成施設指定規則 別表第三 「関係法規・制度」の三に該当 公立高校で長年勤務経験あり
	衛生管理	90(3)	遠部 光一	美容師養成施設指定規則 別表第三 「衛生管理 保健」の八に該当 専門学校での専任教員経験あり
			浅越 由可里	美容師養成施設指定規則 別表第三 「衛生管理 保健」の七に該当 看護師経験あり
	保 健	90(3)	周藤 由美	美容師養成施設指定規則 別表第三 「衛生管理 保健」の七に該当 看護師経験及び専門学校での専任教員経験あり
	香粧品化学	60(2)	横田 直子	美容師養成施設指定規則 別表第三 「香粧品化学」の五に該当 高等学校で長年非常勤講師の経験あり
	文化論	60(2)	高橋 昌人	美容師養成施設指定規則 別表第三 「文化論」の二に該当 絵画教室を経営し、文化講座での講師経験あり
			都路 知世	美容師養成施設指定規則 別表第三 「文化論」の三に該当 カラーセラピスト、文化講座での講師経験あり
	美容技術理論	150(5)	神崎 千恵子	美容師養成施設指定規則 別表第三 「美容技術理論 美容実習」に該当 美容室・専門学校で長年勤務経験あり
			長崎 恵子	
			頼正 加奈子	
正司 一雄				
運営管理	30(1)	正司 一雄	美容師養成施設指定規則 別表第三 「運営管理」の四に該当	
美容実習	900(30)	神崎 千恵子	美容師養成施設指定規則 別表第三 「美容技術理論 美容実習」に該当 美容室・専門学校で長年勤務経験あり	
		長崎 恵子		
		遠部 光一		
		佐伯 恵里子		
合 計		1,410(47)		

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	浅越 由可里
美容科(1年)	必修課目	3単位(90)	授業方法(講義,演習,実験,実習の別)	講義
課目名	衛生管理		単年・継続の別	継続
授業到達目標及びテーマ	公衆衛生が美容業にどのように結びついているか。特に感染症の予防対策としての衛生処置や消毒の意義などについて学習する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P8~19	公衆衛生の概要	
	5	P21~40	保健(母子保健、成人、高齢者保健、精神保健)	
	6	P44~54	保健まとめ・環境衛生(概要、空気環境)	
	7	P59~73	環境衛生(衣服、住居の衛生、上・下水道と廃棄物)	
	8	P75~79	環境衛生(衛生害虫とネズミ、環境保全)	
	9	P82~97	環境衛生まとめ・感染症総論(人と感染症・病原微生物)	
	10	P100~111	感染症の総論(感染症の予防)	
	11	P115~135	感染症の各論(主な感染症)	
	12			
	1	P138~142	感染症の各論(具体的な対策の例)	
	2		感染症まとめ	
	3			
テキスト	衛生管理			
参考書等	ワークブック、過去問題、美容師国家試験対策問題集			
成績評価の方法・基準	授業態度(遅刻、欠席、授業妨害、眠る、スマホ使用)は減産評価とする。 前期、後期(昼間・期末)考査を各素点100点満点で評価する。学年末には優、良、可及び不可で評価する。 60点未満の場合、再テスト及び補習とする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> 美容師養成施設指定規則別表第三「衛生管理」の七に該当 免許状保有状況 看護師免許保有 実務経験 病院約8年 福祉系約20年以上勤務する。 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	周藤由美
美容科(1年)	必修課目	3単位(90)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	講義
課目名	保健	単年・継続の別	継続	
授業到達目標及びテーマ	美容技術のエビデンスとなる人体の構造及び機能と皮膚及びその付属器官の基本的知識を習得する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5	1～	ガイダンス 第1編 第1章 頭部顔部頸部の体表解剖学 第2章 骨格器系	
	6		前期中間試験対策・解説	
	7	26～	第3章 筋系	
	8	32～	第4章 神経系	
	9		前期期末試験対策・解説	
	10	38～	第5章 感覚器系	
	11		後期中間試験対策・解説	
	12	44～	第6章 血液と免疫系	
	1	50～	第7章 循環器系	
	2		後期期末試験対策・解説	
	3			
テキスト	保健			
参考書等	ワークブック・国家試験過去問題			
成績評価の方法・基準	前期・後期の中間・期末考査を各素点90点満点、プリント提出・講義態度を10点満点として評価する。 プリント未提出・講義妨害は減点対象とする。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。成績不振者には補習をする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「衛生管理 保健」の七に該当 ・免許状保有状況:看護師免許保有 ・実務経験:看護師実務経験(10年)看護教員実務経験(4年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	横田直子
美容科(1年)	必修科目	2単位(60)	授業方法(講義, 演習, 実験, 実習の別)	講義
科目名	化粧品化学		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及び テーマ	化粧品の知識・管理について学習する。 化粧品を正しく理解し、安全に使用するための化学の基本原理や知識を学習する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	p.9 ~ 42	化粧品総論 化粧品を使用する際に気をつけるべきこと	
	5	p.43 ~ 50	化粧品の成り立ち, 水と親水性溶媒	
	6	p.51 ~ 69	油性原料, 界面活性剤, 高分子化合物 前期中間試験対策授業	
	7	p.70 ~ 80	色材, 香料	
	8		前期期末試験対策授業	
	9			
	10	p.81 ~ 95	製品を安定させる配合原料, その他の機能性配合原料, 雑貨原料	
	11	p.97 ~ 105	化粧品の効果と使用プロセス, クレンジング用化粧品 後期中間試験対策授業	
	12	p.106 ~ 128	コンディショニング用化粧品, トリートメント用化粧品	
	1	p.129 ~ 142	ベースメイクアップ化粧品, ポイントメイクアップ化粧品, アイメイクアップ化粧品, まつ毛ケア製品	
	2	p.143 ~ 146	ネイルメイクアップ製品, ネイルケア製品 後期期末試験対策授業	
	3			
	テキスト	化粧品化学		
参考書等	ワークブック			
成績評価の方法・基準	前期・後期中間考査・前期期末考査を各素点90点満点で評価し、10点をプリント等の提出点及び授業態度で評価する。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。 考査後に成績不振者対処の追試を行う。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三「化粧品化学」の五に該当 ・免許状保有状況 中学校, 高等学校の第一種理科免許状保有 ・略歴 岡山県公立高校 常勤講師, 非常勤講師 大学 技術補佐員 H23~ 倉敷ビューティーカレッジ 非常勤講師			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	都路知世
美容科(1年)	必修課目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	講義
課目名	文化論		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及び テーマ	美容・理容とは何か、文化の背景や歴史、また社会へ与える影響について分析し、美容の役割を学ぶ。 美容の概念と、価値観の異なる文化間の比較を通じ、その多様性を認識する。 現代までの美容文化の特徴を把握し、美容業の発展を考察する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	4~19p	総論 ・ 理容業・美容業の発生(江戸時代~近代)	
	5	~43p	現代の理容業・美容業 縄文・弥生・古墳時代 古代(飛鳥・奈良・平安時代)	
	6	~63p	中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代) 近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代)	
	7	~73p	近世Ⅱ(江戸時代)	
	8	~80p	近世Ⅱ(江戸時代 続き)	
	9	~88p	近代(明治・大正・昭和20年まで)	
	10	~97p	現代Ⅰ(1945~1950年代) 現代Ⅱ(1960年代~1970年代)	
	11	~102p	現代Ⅱ(1960年代~1970年代 続き)	
	12	~111p	現代Ⅲ(1980年代~1990年代)	
	1	~117p	現代Ⅳ(2000年代以降)	
	2	180p~189p	礼装の種類(和装・洋装礼装)	
	3			
テキスト	教科書美容文化論 ワークブック			
参考書等				
成績評価の方法・基準	前期・後期中間考査、期末考査を各素点100点で評価し、授業態度で減点する。 遅刻、欠席は減算評価とし、成績不振者には補習を行う。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三「文化論」の三に該当 ・免許状保有状況 中学校美術免許(2種)			

シラバス（美容師養成科）

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	正司 一雄
美容科(1年)	必修課目	5単位(150)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	講義
課目名	美容技術理論(前期)		単年・継続の別	継続
授業達成目標及びテーマ	美容技術を理論的に理解させ、適切な技術を行うために必要な基礎的知識の習得及び、国家試験合格への知識習得			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P5~	序章 美容理論を学ぶにあたって	
	5	P15~35	1章 美容用具	
	6	P37~65	2章 シャンプーイング 中間テスト	
	7	P89~	4章 ヘアカットイング	
	9	P~128	4章 ヘアカットイング 期末テスト	
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
	テキスト	美容技術理論 1		
参考書等	美容実習1/美容実習2/美容師国家試験問題集			
成績評価の方法・基準	各、中間・期末考査を100点満点で評価し、授業提出物などの減点を含め、平均点をだし評価する。60点以上で合格とする。また夏休みには、成績不振者に対して再追試を行う。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「美容技術理論 美容実習」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 ・実務経験 美容師実務経験あり 教職員実務経験あり 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	頼正 加奈子
美容科(1年)	必修課目	5単位(150)	授業方法(講義,演習,実験,実習の別)	講義
課目名	美容技術理論(後期)		単年・継続の別	継続
授業到達目標及びテーマ	美容技術を理論的に理解させ、適切な技術を行うために必要な基礎的知識の習得及び、国家試験合格への知識習得			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10	64~85	第3章ヘアデザイン	
	11	126~155	5章パーマネットウエーブ	
	12	126~155	5章パーマネットウエーブ	
	1	220~243	7章ヘアカラーリング	
	2	220~243	7章ヘアカラーリング	
	3		復習問題	
テキスト	美容技術理論1			
参考書等	ワークブック/美容師国家試験問題集			
成績評価の方法・基準	後期定期試験を行い、正答率6割以上で合格			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「美容技術理論 美容実習」に該当 ・免許状保有状況:美容師免許保有、管理美容師免許保有、JBCA認定教員保有、准教員認定保有 「美容技術理論」「美容実習」研修修了書保有、「衛生管理」研修修了書保有 ・美容師実務経験(H7・4~H9・1 STAR HAIR勤務 H9・2~H16・3 JOYCE勤務) ・H16・9~R5・5 専門学校倉敷ビューティーカレッジ勤務 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	神崎 千恵子
美容科(1年1組)	必修課目	30単位(900)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
課目名	美容実習	単年・継続の別		継続
授業到達目標及びテーマ	ワインディング・カット・オールウエーブセッティングなど国家試験合格に向け、分かりやすい説明をする。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		WIN(用具扱い方・ブロッキング・上巻き・下巻き・センター説明) カット(用具扱い方・ワンレングス)	
	5		WIN(センター・バックサイド・サイド説明、ブロッキング10分・全頭50分タイム計る) カット(ワンレングス50分・ブロー)	
	6		WIN前期中間試験(ブロッキング10分・全頭45分) カット前期中間試験(45分)	
	7		ワインディングコンテスト(ブロッキング10分・全頭40分) カット(グラデーション説明)	
	8		WIN(ブロッキング込み全頭40分) カット(グラデーション)	
	9		WIN前期末試験(ブロッキング込み全頭40分)・(ブロッキング込み全頭30分) カット前期末試験(グラデーション)・オールウエーブセッティング(パーマ、ストレートかける)	
	10		WIN(ブロッキング込み全頭30分)・カット(レイヤー説明) オールウエーブ(ウエーブ説明)	
	11		WIN後期中間試験(ブロッキング込み25分)・カット後期中間試験(レイヤー) オールウエーブセッティング(ウエーブ)	
	12		WIN(全頭20分)・カット(セイムレングス) オールウエーブセッティング(ウエーブ)	
	1		WIN(全頭20分)・カット(セイムレングス) オールウエーブセッティング(ウエーブ)	
	2		WIN後期末試験(全頭20分)・カット(セイムレングス) オールウエーブセッティング(オールウエーブ7段)	
	3		WIN(全頭20分) オールウエーブセッティング(カール説明)	
	テキスト			
参考書等				
成績評価の方法・基準	定期試験を行い、100点満点で評価し、60点未満を不合格とし採点、不合格者は追試験を2回まで行う。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「美容技術理論 美容実習」に該当 ・JBCA認定教員保有、准教員認定保有、美容師免許保有、「美容技術理論」「美容実習」研修修了証書保有 「美容文化論」研修修了証書保有 美容師実務経験(H6・4～H14・1 株式会社ザ・トップ勤務 H14・2～H16・3月 株式会社 エリカ勤務) H16・3～R3・5 専門学校倉敷ビューティーカレッジ勤務 			

シラバス（美容師養成科）

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(1年2組)	必修課目	30単位(900)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
課目名	美容実習	単年・継続の別		継続
授業到達目標及びテーマ	ワインディング・カット・オールウエーブセッティングなど国家試験合格に向け、分かりやすい説明をする。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		WIN(用具扱い方・ブロッキング・上巻き・下巻き・センター説明) カット(用具扱い方・ワンレングス)	
	5		WIN(センター・バックサイド・サイド説明、ブロッキング10分・全頭50分タイム計る) カット(ワンレングス50分・ブロー)	
	6		WIN前期中間試験(ブロッキング10分・全頭45分) カット前期中間試験(45分)	
	7		ワインディングコンテスト(ブロッキング10分・全頭40分) カット(グラデーション説明)	
	8		WIN(ブロッキング込み全頭40分) カット(グラデーション)	
	9		WIN前期末試験(ブロッキング込み全頭40分)・(ブロッキング込み全頭30分) カット前期末試験(グラデーション)・オールウエーブセッティング(パーマ、ストレートかける)	
	10		WIN(ブロッキング込み全頭30分)・カット(レイヤー説明) オールウエーブ(ウエーブ説明)	
	11		WIN後期中間試験(ブロッキング込み25分)・カット後期中間試験(レイヤー) オールウエーブセッティング(ウエーブ)	
	12		WIN(全頭20分)・カット(セイムレングス) オールウエーブセッティング(ウエーブ)	
	1		WIN(全頭20分)・カット(セイムレングス) オールウエーブセッティング(ウエーブ)	
	2		WIN後期末試験(全頭20分)・カット(セイムレングス) オールウエーブセッティング(オールウエーブ7段)	
	3		WIN(全頭20分) オールウエーブセッティング(カール説明)	
	テキスト			
参考書等				
成績評価の方法・基準	定期試験を行い、100点満点で評価し、60点未満を不合格とし採点、不合格者は追試験を2回まで行う。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「美容技術理論 美容実習」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 17年 			

シラバス(美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(1年1組)	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	メイク	単年・継続の別		継続
授業到達目標及びテーマ	質感や発色、仕上がりの違いを実感している感性でクリエイティブな作業ができるようにベーシックから応用テクニックまでを学習する。 日本メイクアップ技術検定試験3級・2級取得を目指す。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		道具説明・テーブルセッティング	
	5	54~109	モデルセッティング・スキンケア ~ フェイスパウダー	
	6	54~117	スキンケア ~ チーク・ハイライト・ローライト	
	7	54 ~117	事前準備(10分)・3級課題(30分)タイム計る	
	8		事前準備(10分)・3級課題(30分)タイム計る	
	9		日本メイクアップ技術検定試験3級受験	
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト			
参考書等				
成績評価の方法・基準	検定試験の得点で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 17年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	守屋 繁美
美容科(1年2組)	選択課目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
課目名	メイク	単年・継続の別	継続	
授業到達目標 及び テーマ	メイクアップの基礎知識・技術を習得し、JMA日本メイクアップ技術検定3級資格取得を目指す。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P3~P7 P54~P78	事前準備・ポイントクレンジング・クレンジング実習	
	5	P79~P91	化粧水、美容液、乳液実習、スキンケアテクニック トータルレッスン	
	6	P92~P110	ベースメイク(コントロールカラー、ファンデーション(ハンド)、スポンジ、コンシーラー、パウダー)	
	7	P111~P117	コントロールカラー~ファンデーション~パウダー復習、チーク、ハイライト、ローライト、顔分析	
	8		トータルレッスン、模擬試験	
	9		検定3級	
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト2級3級			
参考書等				
成績評価の方法・基準	後期期末考査を素点80点満点で評価し、20点を授業態度、技術取得度で評価する。学年末には優・良・可及び不可で評価する。なお、遅刻・欠席は減算評価とする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択課目」に該当 ・美容師国家資格、管理美容師 保有 ・美容師実務経験 (9年) ・美容専門学校教員実務経験 (4年) ・JMA認定講師 (4年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	神崎 千恵子
美容科(1年1組)	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	サロン概論	単年・継続の別		継続
授業達成目標 及び テーマ	就職ガイダンスを行い、学生の就職につなげる。			
年間授業計画	月	ページ	授業概要	
	4		オリエンテーション・就職ガイダンス・後援会役員挨拶	
	5		就職ガイダンス・SNS講習・学友会	
	6		校外講義大原美術館見学	
	7			
	9			
	10		防災訓練・後援会就職説明会	
	11			
	12		一生美容に恋する会IMS研修・校外絵付け体験	
	1		接客の基本と電話の受け方・かけ方・サロンのメディア活用・ビジネス用語	
	2			
	3		就職説明会	
	テキスト			
参考書等				
成績評価の方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・JBCA認定教員保有、准教員認定保有、美容師免許保有、「美容技術理論」「美容実習」研修修了証書保有 「美容文化論」研修修了証書保有 美容師実務経験(H6・4～H16・3月) H16・3～R4・4現在 専門学校倉敷ビューティーカレッジ勤務 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(1年2組)	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	サロン概論		単年・継続の別	継続
授業達成目標及びテーマ	就職ガイダンスを行い、学生の就職につなげる。			
年間授業計画	月	ページ	授業概要	
	4		オリエンテーション・就職ガイダンス・後援会役員挨拶	
	5		就職ガイダンス・SNS講習・学友会	
	6		校外講義大原美術館見学	
	7			
	9			
	10		防災訓練・後援会就職説明会	
	11			
	12		一生美容に恋する会IMS研修・校外絵付け体験	
	1		接客の基本と電話の受け方・かけ方・サロンのメディア活用・ビジネス用語	
	2			
	3		就職説明会	
	テキスト			
参考書等				
成績評価の方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 17年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	神崎 千恵子
美容科(1年)	選択科目	1単位(30)	授業方法(講義,演習,実験,実習の別)	講義
科目名	ビューティ・コーディネーター	単年・継続の別		継続
授業到達目標 及び テーマ	トータルビューティを総合的・体系的のカウンセリングし、お客様に合った提案を行える人材を育成する。 ビューティ・コーディネーター検定3級受験 全員合格を目指す			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10	76~82 12~30	ビューティ・コーディネーターとオペレーション・美容業におけるビジネスキャリア	
	11	32~48	ホスピタリティを發揮するビジネスコミュニケーション・サロン内のコミュニケーション	
	12	50~70	接客の基本と電話の受け方・かけ方・サロンのメディア活用・ビジネス用語	
	1	84~100	生産性を高めるフロアマネージメントワーク	
	2	102~114	「美意識」をコーディネート・ファッションを理解する	
	3	102~114	「美意識」をコーディネート・ファッションを理解する	
テキスト	ビューティ・コーディネーター3級テキスト			
参考書等	過去問題			
成績評価の方法・基準	授業態度・遅刻・欠席・提出物で後期中間試験との総合で評価する。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・JBCA認定教員保有、准教員認定保有、美容師免許保有、「美容技術理論」「美容実習」研修修了証書保有 「美容文化論」研修修了証書保有 美容師実務経験(H6・4~H14・1 株式会社ザ・トップ勤務 H14・2~H16・3月 株式会社 エリカ勤務) H16・3~R3・5 専門学校倉敷ビューティーカレッジ勤務 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	神崎 千恵子
美容科(1年1組)	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	制作実習	単年・継続の別		継続
授業達成目標 及び テーマ	制作発表会を目標に、協調性や美的センスを養い披露する			
年間 授業 計画	月	ページ	授業概要	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3		制作発表会準備	
テキスト				
参考書等				
成績評価の 方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・JBCA認定教員保有、准教員認定保有、美容師免許保有、「美容技術理論」「美容実習」研修修了証書保有 「美容文化論」研修修了証書保有 美容師実務経験(H6・4～H14・1 株式会社ザ・トップ勤務 H14・2～H16・3月 株式会社 エリカ勤務) H16・3～R3・5 専門学校倉敷ビューティーカレッジ勤務 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(1年2組)	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	制作実習	単年・継続の別	継続	
授業達成目標 及び テーマ	制作発表会を目標に、協調性や美的センスを養い披露する			
年間 授業 計画	月	ページ	授業概要	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3		制作発表会準備	
テキスト				
参考書等				
成績評価の方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 17年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	頼正 加奈子
美容科(1年) ヘアスタイリストコース	必修課目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
課目名	編込み	単年・継続の別	継続	
授業到達目標 及び テーマ	ブレイディスト検定3級と2級に向けての編込みの基礎。コンテストに向けてのデザインづくり			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P7~P93	新井唯夫編込み入門第1章に沿った基本的な束にしてからの編み方の習得	
	5		新井唯夫編込み入門第1章に沿った基本的な束にしてからの編み方の習得	
	6		新井唯夫編込み入門第1章に沿った基本的な束にしてからの編み方の習得	
	7		ブレイディスト検定初級検定練習と検定	
	8	P95~P127	新井唯夫編込み入門第2章に沿った基本的な束にしてからの編み方の習得	
	9		新井唯夫編込み入門第2章に沿った基本的な束にしてからの編み方の習得	
	10		ブレイディスト検定中級検定練習と検定	
	11		編込みコンテストのデッサン・デモ作品作成	
	12		編込みコンテストの作品作成(タイム50分測る)	
	1		アップコンタイム測る。メイク、飾りの作成	
	2		アップコンテスト練習、アップコンテスト	
	3			
	テキスト			
参考書等	編込み入門(新井 唯夫)アップスタイルの雑誌などから抜粋して			
成績評価の方法・基準	各実習を100点満点で評価し、そこから授業態度、欠席遅刻により点数を引いたものを素点とし、平均を出し評価する。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。 また、夏休み・冬休み・春休みには成績不振者対象の補習をする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択課目」に該当 ・免許状保有状況:美容師免許保有、管理美容師免許保有、JBCA認定教員保有、准教員認定保有 「美容技術理論」「美容実習」研修修了書保有、「衛生管理」研修修了書保有 ・美容師実務経験(H7・4~H9・1 STAR HAIR勤務 H9・2~H16・3 JOYCE勤務) ・H16・9~R5・5 専門学校倉敷ビューティーカレッジ勤務 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	高橋 昌人
美容科(1年) ヘアスタイリストコース	選択科目	1単位(30)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	演習
科目名	美術		単年・継続の別	単年
授業到達目標 及び テーマ	美容師にとって中心的課題である人体頭部の解剖学的把握と優れたデザイン感覚を身につけるために、デッサン実習とヘアスタイル画を通して学習する。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		鉛筆デッサン演習・タッチトーン作成	
	5		鉛筆デッサン演習・立方体のデッサン	
	6		鉛筆デッサン演習・目・鼻・口のデッサン	
	7		ヘアスタイル画演習	
	8		ヘアスタイル画演習	
	9		アクリルガッシュ演習・グラデーション作成	
	10		アクリルガッシュ演習・混色表現	
	11		美人画演習	
	12		美人画演習	
	1		ファッションスタイル画演習	
	2		ファッションスタイル画演習	
	3			
	テキスト			
参考書等				
成績評価の方法・基準	前期・後期中間考査、前期期末考査を各素点80点満点と授業態度で評価する。 20点をノート点の提出物及び授業態度で評価する。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 ・実務経験 ・倉敷ビューティーカレッジ非常勤講師歴22年 ・絵画教室代表23年			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	杉井 見羽
美容科(1年) ヘアスタイリストコース	選択課目	1単位(30)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	講義
課目名	カラー診断(PC)		単年・継続の別	単年
授業到達目標 及び テーマ	色彩に関する基礎知識やCUS配色をまなび、パーソナルカラーの色分類や特徴を理解し、美容・メイク・ブライダル等の実践に役立つ知識・診断技術を習得する。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P1~25	パーソナルカラー概論、色彩と文化	
	5	P26~58	色彩理論	
	6	P26~95	色彩とファッション、パーソナルカラー	
	7		パーソナルカラー診断実習	
	8			
	9		パーソナルカラー診断実習	
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	パーソナルカラーリスト検定 3級公式テキスト			
参考書等	CUSカラーカード157			
成績評価の方法・基準	前期・後期考査を各素点100点満点で評価し、小テスト、及び課題提出、授業態度で加点減点評価する。学年末には、優・良・可及び不可で評価する。 なお、遅刻・欠席は減算評価とする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> 美容師養成施設指定規則別表第三「選択課目」に該当 免許状保有状況 カラー検定1級、英国オーラライト・カナダセンセーション カラーセラピー認定セラピスト 実務経験 (有)アクティにてカラーリスト、インストラクターとして勤務後、個人サロン、アリン開業(経験22年) 			

シラバス（美容師養成科）

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(1年) ヘアスタイリストコース	選択科目	1単位(30)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	着付	単年・継続の別		単年
授業到達目標 及び テーマ	浴衣、留袖の実技を学ぶと同時に、着付に関する知識の習得とマナーを身に付ける。			
年間 授業 計画	月	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)		
	4	道具・小物の説明 浴衣の実技		
	5	留袖 (補正～長襦袢)		
	6	(着物)		
	7	(帯)		
	8	全体通し		
	9	留袖 実技テスト		
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	美容技術理論 2			
参考書等				
成績評価の方法・基準	授業態度・遅刻・欠席・実技テストとの総合で評価する。 遅刻・欠席は減算評価とする。 学期末・学年末には優・良・可及び不可で評価する。 また、夏休みには成績不振者の補習をする。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 着付け職種技能検定1級 着付け技能士 保有 ・実務経験 美容師実務経験 (10年)			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	杉本 奈緒実
美容科(1年) ヘアスタイリストコース	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	美容技術 I (ネイル)	単年・継続の別	継続	
授業到達目標 及び テーマ	ネイル/ネイルの正しい知識と技術を持ち、安心・安全に施術できるようになる。トータルビューティーへの意欲向上、ネイリスト技能検定3級合格 エステ/人の容姿を美しく整える為に皮膚に対して物理的・化学的な方法を施し、その生理機能を整えて健康で美しい皮膚を持続させる理論や技術を学習する			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9		ネイル理論	
	10	P16~19・P8 ~13・P85~ a1	検定の流れの把握、理論(プリントNo,1~2)、道具作り、カットスタイル	
	11	P14,15・P69~ 81	理論(No,)、ケア/ ハンドマッサージ	
	12	P20,21・P30~ 36・P38~45	理論(プリントNo,4~5)カラー、アート	
	1		実習(検定の流れを覚える)	
	2		実習 タイムトライアル	
	3		実習 タイムトライアル	
テキスト	JNA TECHNICAL SYSTEM ~BASIC~/美容技術理論2			
参考書等				
成績評価の方法・基準	・授業態度 ・検定前の実技チェック			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 ・ネイリスト技能検定1級、ジェルネイル検定上級、ネイルサロン衛生管理士、フットネイル検定 ・実務経験 ・ネイリスト実務経験(13年)			

シラバス（美容師養成科）

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	守屋 繁美
美容科(1年) ヘアスタイリストコース	選択課目	2単位(60)	授業方法(講義、演習、実験、実習の別)	実習
課目名	美容技術Ⅱ(アップスタイル)		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及び テーマ	セミロングやロングヘアのように長さのある毛髪を頭頂部などへ結い上げるセット方法で、基本から応用を習得する。今までのアップスタイルより高度な作品を作り上げる。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10		細ゴムを使用して、1つに結ぶ練習。毛たぼの作り方。仕込みの方法	
	11		1つ目のスタイル 蝶とシニオン	
	12		1つ目のスタイル テスト(60分)	
	1		2つ目のスタイル 球、トルネード塔、シニオンのスタイル、創作	
	2		"	
	3		2つ目のスタイル テスト(70分)、成人式・パーティーヘア	
テキスト				
参考書等				
成績評価の方法・基準	2作品の評価を各素点80点満点で評価し、20点を授業態度および技術取得度で評価する。学年末には優・良・可及び不可で評価する。なお、遅刻・欠席は減算評価とする。また、成績不振者対処の補習をする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択課目」に該当 ・美容師国家資格、管理美容師 保有 ・美容師実務経験（9年） ・美容専門学校教員実務経験（4年） 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(1年) ヘアスタイリストコース	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	美容技術Ⅱ(着付・ブライダル)	単年・継続の別		継続
授業到達目標 及び テーマ	ブライダル業界に携わるうえで必要なマナー、知識、技術を学ぶ 袴、振袖、和装花嫁、洋装花嫁の着付の実践			
年間 授業 計画	月	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)		
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10	女性用袴の着付		
	11	振袖		
	12	振袖		
	1	振袖		
	2	洋装 花嫁		
	3	洋装 花嫁		
テキスト	美容技術理論 2			
参考書等				
成績評価の方法・基準	授業態度・遅刻・欠席・実技テストとの総合で評価する。 遅刻・欠席は減算評価とする。 学期末・学年末には優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 着付け職種技能検定1級 着付け技能士 保有 ・実務経験 美容師実務経験 (10年)			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	犬飼 繁
美容科(2年)	必修課目	1単位(30)	授業方法(講義,演習,実験,実習の別)	講義
課目名	関係法規・制度	単年・継続の別		単年
授業到達目標及びテーマ	美容師の業務に関する諸法規・制度についての正しい知識を学習する。さらに美容所の開設等の規則や違反者に対する行政処分や罰則、そして関連法規についても学習する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P8～36	法制度、衛生行政に関してその概要を学習する。	
	5	P37～48	保健所の役割と機構、美容師法の目的と用語の定義を学習する。	
	6	P49～74	美容師に関する規定の概説、美容師試験、免許と登録について学習する。	
	7			
	8	P74～85	美容師の義務について学習する。	
	9	P85～103	美容師の業務停止・免許取り消しおよび再免許、美容所の開設について学習する。	
	10	P103～114	開設者が講ずべき衛生措置、美容所以外での業務、立入検査と環境衛生監視員について学習する。	
	11	P115～126	違反者等に対する行政処分、罰則について学習する。	
	12	P128～140	関連法規について学習する。	
	1		国家試験対策として、過去問を学習する。	
	2		国家試験対策として、過去問を学習する。	
	3		国家試験対策として、過去問を学習する。	
テキスト	関連法規・制度(美容)			
参考書等	ワークブック・美容師法関係法令集			
成績評価の方法・基準	前期・後期中間考査、前期・後期期末考査を各素点90点満点で評価し、10点を学習プリントの提出点及び授業態度で評価する。学年末には優・良・可・不可で評価する。 なお、遅刻・早退・欠席は減算評価とする。 また、夏休み・冬休み・春休みには成績不振者に対する補習をする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「関係法規・制度」の三に該当 ・免許状保有状況 中学校教諭一級普通免許状 社会, 高等学校教諭二級普通免許状 社会 ・実務経験 講師歴9カ月, 教諭歴35年, 非常勤講師歴8年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	遠部 光一
美容科(2年)	必修課目	3単位(90)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	講義
課目名	衛生管理		単年・継続の別	継続
授業到達目標及びテーマ	衛生管理を理論的に理解させ、適切な消毒方法や感染症予防対策を行うために必要な基礎的知識の習得及び国家試験合格への知識習得			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P103~126	感染症の各論(小テスト)	
	5	P129~153	衛生管理技術(消毒法総論)	
	6	P154~180	衛生管理技術(化学的消毒法、実施上の注意点、消毒法実習)試験対策	
	7	P181~193	衛生管理技術(消毒の実際)	
	8	P194~214	衛生管理技術(清潔法の実際)衛生管理の実践例	
	9	P201~234	衛生管理の実践例・試験対策	
	10		公衆衛生まとめ・環境衛生まとめ(小テスト)	
	11		感染症まとめ・衛生管理技術まとめ・試験対策(小テスト)	
	12		国家試験対策(過去問・問題集)	
	1		国家試験対策(過去問・問題集)	
	2		国家試験対策(過去問・問題集)	
	3		国家試験対策(過去問・問題集)	
テキスト	衛生管理/美容師国家試験課題「技術の解説」			
参考書等	美容師国家試験問題集			
成績評価の方法・基準	前期・後期定期試験を行い、正答率6割以上で合格、6割未満の場合に追認試験を行う。学年末評価が「不可」の場合、不認定とする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> 美容師養成施設指定規則別表第三「衛生管理 保健」の八に該当 免許状保有状況 美容師免許保有 実務経験 美容師実務経験12年 教職員実務経験9年 			

シラバス（美容師養成科）

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	周藤由美
美容科2年生	必修課目	3単位(90)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	講義
課目名	保健		単年・継続の別	継続
授業到達目標及びテーマ	美容技術のエビデンスとなる人体の構造及び機能と皮膚及びその付属器官の基本的知識を習得する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	50～	第6章 血液・循環器系 第7章 呼吸器系	
	5	60～	第8章 消化器系 第2編 第1章 皮膚の構造	
	6		前期中間試験対策・解説	
	7	78～	第2章 皮膚付属器官の構造 第3章 皮膚の循環器系と神経系	
	8	90～	第3章 皮膚の循環器系と神経系 第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	
	9		前期期末試験対策・解説	
	10	108～	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患	
	11		後期中間試験対策・解説	
	12		国家試験対策	
	1		国家試験対策	
	2		後期期末試験対策・解説	
	3		国家試験対策	
	テキスト	保健		
参考書等	ワークブック・国家試験過去問題			
成績評価の方法・基準	前期・後期の中間・期末考査を各素点95点満点、プリント提出・講義態度を5点満点として評価する。 プリント未提出・講義妨害は減点対象とする。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。成績不振者には補習をする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「衛生管理 保健」の七に該当 ・免許状保有状況：看護師免許保有 ・実務経験：看護師実務経験(10年)看護教員実務経験(4年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	横田直子
美容科(2年)	必修課目	2単位(60)	授業方法(講義,演習,実験,実習の別)	講義
課目名	香粧品化学		単年・継続の別	継続
授業到達目標及びテーマ	香粧品の知識・管理について学習する。 香粧品を正しく理解し、安全に使用するための化学の基本原理や知識を学習する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	付録-8~15	イオンと水素イオン指数(pH) 物質の変化と化学反応	
	5	付録-15, 16	酸化・還元反応 前期中間試験対策授業	
	6	付録-17~20	タンパク質	
	7			
	8			
	9		前期期末試験対策授業	
	10	p.9~121	1章~4章 復習	
	11	p.123~164	5章, 6章 復習 後期中間試験対策授業	
	12		国家試験対策授業	
	1		国家試験対策授業	
	2		国家試験対策授業	
	3			
テキスト	香粧品化学			
参考書等	ワークブック			
成績評価の方法・基準	前期・後期中間考査・前期期末考査を各素点90点満点で評価し、10点をプリント等の提出点及び授業態度で評価する。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。 考査後に成績不振者対処の追試を行う。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「香粧品化学」の五に該当 ・免許状保有状況 中学校, 高等学校の第一種理科免許状保有 ・略歴 岡山県公立高校 常勤講師, 非常勤講師 大学 技術補佐員 H23~ 倉敷ビューティーカレッジ 非常勤講師 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	高橋 昌人
美容科(2年)	必修課目	2単位(60)	授業方法(講義,演習,実験,実習の別)	講義
課目名	文化論		単年・継続の別	継続
授業到達目標及びテーマ	美容師の仕事は、人間美の想像、実現にあることをよく認識し、その使命達成の為に必要な美的感覚を身につけ、表現力を養う。 また美容師の成り立ちや時代背景とのつながり、美容・理容の歴史について学習する。美容・理容とは何か、美のあり方や国内外における美容文化を理解する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	108～113p	①古代エジプト 古代ギリシャ・ローマ	
	5	113～123p 124～127p	②古代ゲルマン 中世ヨーロッパ ③近世Ⅰ(16世紀) 近世Ⅱ(17世紀)	
	6	128～133p	④近世Ⅲ(18世紀) 近代Ⅰ(18世紀末～19世紀始め)	
	7	134～138p	⑤近代Ⅱ(19世紀)	
	8	139～144p	⑥現代Ⅰ(1910～1920年代) 現代Ⅱ(1930年代)	
	9	145～148p	⑦現代Ⅲ(1940～1950年代)	
	10	149～152p 153～157p	⑧現代Ⅳ(1960年代) ⑨現代Ⅴ(1970年代)	
	11	158～160p	⑩現代Ⅵ(1980年代)	
	12	164～170p	⑪和装・洋装 礼装 復習	
	1	161～162p	⑫現代Ⅶ(1990～2010年)	
	2		⑬試験対策 復習	
	3		⑭試験対策 復習	
	テキスト	教科書美容文化論(21期) ワークブック		
参考書等				
成績評価の方法・基準	前期・後期中間考査、期末考査を各素点100点で評価し、授業態度で減点する。 遅刻、欠席は減算評価とし、成績不振者には補習を行う。 学年末には、優・良・可及び不可で評価をする。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第3「文化論」の二に該当 ・免許状保有状況 ・実務経験 ・倉敷ビューティーカレッジ非常勤講師歴22年 ・絵画教室代表23年			

シラバス（美容師養成科）

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(2年1組)	必修課目	5単位(150)	授業方法(講義,演習,実験,実習の別)	講義
課目名	美容技術理論		単年・継続の別	継続
授業到達目標及びテーマ	美容に関する基礎理論・用具の名称・選定法・取り扱い等を学習し、国家試験を目指す。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P198~219 P5~P35	第6章 ヘアセット(ブロードライから) 第8章エステティック	
	5	P5~P35	第8章エステティック	
	6	P37~P71	第8章エステティック(前期中間試験) 第9章ネイル技術	
	7	P37~P71 P73~P111	第9章ネイル技術 第10章メイクアップ	
	8	P73~P111	第10章メイクアップ	
	9	P113~133	第9章ネイル技術 第10章メイクアップ(前期期末試験) 第11章 日本髪	
	10	P135~178	第12章着付けの理論と技術	
	11	P135~178	第11章 日本髪 第12章着付けの理論と技術(後期中間試験)	
	12		美容技術理論①復習	
	1		美容技術理論②復習	
	2		過去問題	
	3		過去問題	
テキスト	美容技術理論1・2			
参考書等	過去問題			
成績評価の方法・基準	前期期末試験・後期期末考査100点満点で作成し、課題提出・授業態度(忘れ物・遅刻欠席)加味し評価する。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「美容技術理論 美容実習」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 17年 			

シラバス（美容師養成科）

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	神崎 千恵子
美容科(2年2組)	必修課目	5単位(150)	授業方法(講義,演習,実験,実習の別)	講義
課目名	美容技術理論	単年・継続の別	継続	
授業到達目標 及び テーマ	美容に関する基礎理論・用具の名称・選定法・取り扱い等を学習し、国家試験を目指す。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P198~219 P5~P35	第6章 ヘアセット(ブロードライから) 第8章エステティック	
	5	P5~P35	第8章エステティック	
	6	P37~P71	第8章エステティック(前期中間試験) 第9章ネイル技術	
	7	P37~P71 P73~P111	第9章ネイル技術 第10章メイクアップ	
	8	P73~P111	第10章メイクアップ	
	9	P113~133	第9章ネイル技術 第10章メイクアップ(前期期末試験) 第11章 日本髪	
	10	P135~178	第12章着付けの理論と技術	
	11	P135~178	第11章 日本髪 第12章着付けの理論と技術(後期中間試験)	
	12		美容技術理論①復習	
	1		美容技術理論②復習	
	2		過去問題	
	3		過去問題	
テキスト	美容技術理論1・2			
参考書等	過去問題			
成績評価の 方法・基準	前期期末試験・後期期末考査100点満点で作成し、課題提出・授業態度(忘れ物・遅刻欠席)加味し評価する。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三「美容技術理論 美容実習」に該当 ・JBCA認定教員保有、准教員認定保有、美容師免許保有、「美容技術理論」「美容実習」研修修了証書保有 「美容文化論」研修修了証書保有 美容師実務経験(H6・4~H16・3月) H16・3~R4・4現在 専門学校倉敷ビューティーカレッジ勤務			

シラバス（美容師養成科）

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	正司 一雄
美容科(2年)	必修課目	1単位(30)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	講義
課目名	運営管理		単年・継続の別	単年
授業達成目標及びテーマ	経営者・経営とは何か、税金や申告、社会保険制度などの将来に向けての知識と理解を考え理解する。国家試験への対策もしっかり取り入れる。			
年間授業計画	月	ページ	授業概要	
	4	P2～23	まえがき・第1編 経営者の視点 1章経営とは・経営者とは	
	5	P24～35	第1編 経営者の視点 2章 理容業・美容業の経営について	
	6	P36～47	第1編 経営者の視点 3章 資金の管理 中間テスト	
	7	P50～	第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	
	9	～93	第2章 健康・安全な職場環境の実現 第3章 従業員としての視点から 期末テスト	
	10	P96～	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	
	11	～143	第2章 マーケティング 第3章 サービスにおける人の役割 中間テスト	
	12	P2～143	第1編～3編 全体復習	
	1	P2～143	第1編～3編 全体復習 期末テスト	
	2	資料	演習問題を使った復習/後期期末試験(全範囲)	
	3	資料	美容師学科国家試験	
	テキスト	運営管理教科書		
参考書等	運営管理/美容師国家試験問題集/ワークブック			
成績評価の方法・基準	各、中間・期末考査を100点満点で評価し、授業提出物などの減点を含め、平均点をだし評価する。60点以上で合格とする。 また夏休み・冬休みには成績不振者に対して再追試を行う。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三「運営管理」の四に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 ・実務経験 美容師実務経験あり 教職員実務経験あり			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	遠部 光一
美容科(2年1組)	必修科目	30単位(900)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	美容実習	単年・継続の別		継続
授業到達目標及びテーマ	美容技術を行う場合に必要な基本動作はもちろんのこと、美容器具の操作方法や消毒、手入れ方法などを実践する。 また、特殊技術を適切に組み合わせて、調和のとれた美容技術を完成させる為、総合的な技術を身に付ける。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		各技術のタイムアップ。 WIN(20分)、国家試験カット見直し(30分)、PINオールウエーブデモ	
	5		各技術のタイムアップ。 WIN(20分)、国家試験カット見直し(25分)、PINオールウエーブ練習	
	6		各技術のタイムアップ。 WIN(19分)、国家試験カットタイムアップ用切り方デモ、PINオールウエーブ練習	
	7		各技術のタイムアップ。 WIN(19分)、国家試験カットタイムアップ用切り方デモ、PINオールウエーブ練習(50分)	
	8		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(23分)、PINオールウエーブ練習(45分)	
	9		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(20分)、PINオールウエーブ練習(40分)	
	10		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(20分)、PINオールウエーブ練習(35分)	
	11		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(18分)、PINオールウエーブ練習(30分)	
	12		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(17分)、PINオールウエーブ練習(25分)	
	1		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(17分)、PINオールウエーブ練習(23分)	
	2		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(16分)、PINオールウエーブ練習(21分)	
	3			
	テキスト	美容技術理論・美容実習		
参考書等	美容雑誌などから抜粋して			
成績評価の方法・基準	各実習を100点満点で評価し、そこから授業態度などを含め点数を引いたものを素点とし、平均を出し評価する。学年末には優・良・可及び不可で評価する。 また、夏休み・秋休み・冬休み・春休みには成績不振者対象の補習をする。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三「美容技術理論 美容実習」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許保有 ・実務経験 美容師実務経験12年 教職員実務経験9年			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(2年2組)	必修課目	30単位(900)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
課目名	美容実習	単年・継続の別		継続
授業到達目標及びテーマ	美容技術を行う場合に必要な基本動作はもちろんのこと、美容器具の操作方法や消毒、手入れ方法などを実践する。 また、特殊技術を適切に組み合わせて、調和のとれた美容技術を完成させる為、総合的な技術を身に付ける。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		各技術のタイムアップ。 WIN(20分)、国家試験カット見直し(30分)、PINオールウエーブデモ	
	5		各技術のタイムアップ。 WIN(20分)、国家試験カット見直し(25分)、PINオールウエーブ練習	
	6		各技術のタイムアップ。 WIN(19分)、国家試験カットタイムアップ用切り方デモ、PINオールウエーブ練習	
	7		各技術のタイムアップ。 WIN(19分)、国家試験カットタイムアップ用切り方デモ、PINオールウエーブ練習(50分)	
	8		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(23分)、PINオールウエーブ練習(45分)	
	9		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(20分)、PINオールウエーブ練習(40分)	
	10		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(20分)、PINオールウエーブ練習(35分)	
	11		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(18分)、PINオールウエーブ練習(30分)	
	12		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(17分)、PINオールウエーブ練習(25分)	
	1		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(17分)、PINオールウエーブ練習(23分)	
	2		各技術のタイムアップ。 WIN(18分)、国家試験カット(16分)、PINオールウエーブ練習(21分)	
	3			
	テキスト	美容技術理論・美容実習		
参考書等	美容雑誌などから抜粋して			
成績評価の方法・基準	各実習を100点満点で評価し、そこから授業態度などを含め点数を引いたものを素点とし、平均を出し評価する。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。 また、夏休み・秋休み・冬休み・春休みには成績不振者対象の補習をする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「美容技術理論 美容実習」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 着付け職種技能検定1級 着付け技能士 保有 ・実務経験 美容師実務経験 (10年) 			

シラバス（美容師養成科）

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(2年1組)	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	メイク	単年・継続の別		継続
授業到達目標 及び テーマ	メイクアップの基礎知識・技術を習得し、JMA日本メイクアップ技術検定2級資格取得を目指す。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P119～	2級試験課題ブラシテクニク	
	5	P125～	ポイントメイクテクニク	
	6		ポイントメイクテクニク	
	7		2級トータルレッスン	
	8		2級トータルレッスン	
	9		模擬・検定	
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト				
参考書等				
成績評価の 方法・基準	授業態度・遅刻・欠席・提出物で後期中間試験との総合で評価する。 遅刻・欠席は減産評価とする。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。 また、夏休み・冬休み・春休みには成績不振者対処の補習をする。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 JMA学内認定講師 日本メイクアップ技術検定2級 保有 ・実務経験 美容師実務経験(10年)			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	守屋 繁美
美容科(2年2組)	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	メイク	単年・継続の別	継続	
授業到達目標及びテーマ	メイクアップの基礎知識・技術を習得し、JMA日本メイクアップ技術検定2級資格取得を目指す。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P8~P10 P120~P131	・2級検定概要 ・ベースメイク(ブラシテクニック) ・アイブロウテクニック	
	5	P132~P148	・アイシャドウ ・アイライン ・ビューラー&マスカラ ・リップ テクニック	
	6	P65~P91	・ポイントメイクトータルレッスン・スキンケア復習	
	7	P149	・ポイントトータルレッスン・2級検定対策 ・検定	
	8			
	9	P149	・メイクコンテスト練習・メイクコンテスト	
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト2級3級			
参考書等				
成績評価の方法・基準	後期期末考査を素点80点満点で評価し、20点を授業態度、技術取得度で評価する。学年末には優・良・可及び不可で評価する。なお、遅刻・欠席は減算評価とする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・美容師国家資格、管理美容師 保有 ・美容師実務経験 (9年) ・美容専門学校教員実務経験 (4年) ・JMA認定講師 (4年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	遠部 光一
美容科(2年1組)	選択科目	1単位(30)	授業方法(講義,演習,実験,実習の別)	実習
科目名	サロン概論	単年・継続の別	継続	
授業達成目標 及び テーマ	就職ガイダンスを行い、学生の就職につなげる。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業概要	
	4			
	5		後援会就職説明会	
	6		2年生対象就職説明会	
	7			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
	テキスト			
参考書等				
成績評価の方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許保有 ・実務経験 美容師実務経験12年 教職員実務経験9年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(2年2組)	選択科目	1単位(30)	授業方法(講義, 演習, 実験, 実習の別)	講義, 実習
科目名	サロン概論		単年・継続の別	継続
授業達成目標 及び テーマ	就職ガイダンスを行い、学生の就職につなげる。			
年間授業計画	月	ページ	授業概要	
	4			
	5		後援会就職説明会	
	6		2年生対象就職説明会	
	7			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
	テキスト			
参考書等				
成績評価の方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 JMA学内認定講師 日本メイクアップ技術検定2級 保有 ・実務経験 美容師実務経験(10年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(2年)	選択科目	1単位(30)	授業方法(講義,演習,実験,実習の別)	講義
科目名	ビューティ・コーディネーター	単年・継続の別		継続
授業到達目標 及び テーマ	トータルビューティの総合的・体系的のカウンセリングをし、お客様に寄り添った提案を行うことができる人材を育てる。 ビューティビジネス実務検定試験 全員合格を目指す。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P84~116	生産性を高めるサロンオペレーション/ファッションを理解する	
	5	P118~147	美容基礎知識/トータルビューティメニュー	
	6		過去問題/検定対策	
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト				
参考書等				
成績評価の方法・基準	授業態度・遅刻・欠席・提出物で後期中間試験との総合で評価する。 遅刻・欠席は減産評価とする。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。 また、夏休み・冬休み・春休みには成績不振者対処の補習をする。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 JBCA認定教員 保有 ・実務経験 美容師実務経験(10年)			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	遠部 光一
美容科(2年1組)	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義,演習,実験,実習の別)	講義
科目名	総合実習	単年・継続の別		単年
授業達成目標 及び テーマ	美容師国家試験7科目を復習し、学科への知識を伸ばし、合格を目指す			
年間 授業 計画	月	ページ	授業概要	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1		美容師国家試験学科対策	
	2		美容師国家試験学科対策	
	3		美容師国家試験学科対策	
	テキスト	国家試験科目の各教科書		
参考書等	美容師国家試験問題集 / ワークブック			
成績評価の 方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許保有 ・実務経験 美容師実務経験12年 教職員実務経験9年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(2年2組)	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義,演習,実験,実習の別)	講義
科目名	総合実習	単年・継続の別		単年
授業達成目標 及び テーマ	美容師国家試験7科目を復習し、学科への知識を伸ばし、合格を目指す。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業概要	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1		美容師国家試験学科対策	
	2		美容師国家試験学科対策	
	3		美容師国家試験学科対策	
	テキスト	国家試験科目の各教科書		
参考書等	美容師国家試験問題集 / ワークブック			
成績評価の方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 JBCA認定教員 保有 ・実務経験 美容師実務経験(10年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	遠部 光一
美容科(2年1組)	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	制作実習	単年・継続の別		継続
授業達成目標 及び テーマ	制作発表会を目標に、協調性や美的センスを養い披露する。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業概要	
	4		制作発表会準備	
	5		制作発表会・絵コンテ提出	
	6		制作発表会準備・音響、照明	
	7		制作発表会・リハーサル	
	8		8/29 制作発表会	
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト				
参考書等				
成績評価の 方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許保有 ・実務経験 美容師実務経験12年 教職員実務経験9年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(2年2組)	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	制作実習		単年・継続の別	継続
授業達成目標 及び テーマ	制作発表会を目標に、協調性や美的センスを養い披露する。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業概要	
	4		制作発表会準備	
	5		制作発表会・絵コンテ提出	
	6		制作発表会準備・音響、照明	
	7		制作発表会・リハーサル	
	8		8/29 制作発表会	
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト				
参考書等				
成績評価の方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 JBCA認定教員 保有 ・実務経験 美容師実務経験(10年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	頼正 加奈子
美容科(2年) ヘアスタイリストコース	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	編込み	単年・継続の別		継続
授業到達目標 及び テーマ	編込み検定1級に向けてのロングヘアのアップスタイルづくり 編込みコンテストに向けてのデザインづくり			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		1級に向けてのデザインアップ	
	5		アップスタイルコンテストのデッサン・デモ作品作成・タイム(60分)測る	
	6		タイム(60分)測る・カラーを入れる	
	7		タイム(60分)測る・メイクや飾りの作成アップスタイルコンテスト	
	8			
	9		上級に向けてのデザインアップ	
	10		上級に向けてのデザインアップ	
	11		上級に向けてのデザインアップ・上級テスト	
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト				
参考書等	編込み入門(新井 唯夫)アップスタイルの雑誌などから抜粋して			
成績評価の方法・基準	各実習を100点満点で評価し、そこから授業態度、欠席遅刻により点数を引いたものを素点とし、平均を出し評価する。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。 また、夏休み・冬休み・春休みには成績不振者対象の補習をする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況:美容師免許保有、管理美容師免許保有、JBCA認定教員保有、准教員認定保有 「美容技術理論」「美容実習」研修修了書保有、「衛生管理」研修修了書保有 ・美容師実務経験(H7・4~H9・1 STAR HAIR勤務 H9・2~H16・3 JOYCE勤務) ・H16・9~R5・5 専門学校倉敷ビューティーカレッジ勤務 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	杉本 奈緒実
美容科(2年) ヘアスタイリストコース	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	ネイル・エステ	単年・継続の別	継続	
授業到達目標 及び テーマ	ネイルの正しい知識と技術を持ち、安心・安全に施術できるようになる。 トータルビューティーへの意欲向上、ネイリスト技能検定3級合格			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		ネイル検定対策授業	
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	JNA TECHNICAL SYSTEM ～BASIC～			
参考書等				
成績評価の方法・基準	・授業態度 ・検定前の実技チェック			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 ・ネイリスト技能検定1級、ジェルネイル検定上級、ネイルサロン衛生管理士、フットネイル検定 ・実務経験 ・ネイリスト実務経験(14年)			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	溝曾路 仁美
美容科(2年) ヘアスタイリストコース	選択課目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
課目名	着付	単年・継続の別		継続
授業到達目標 及び テーマ	着物の種類と着付けの目的を理解し、ゆかた着付と留袖着付ができるようにする。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P154~155	留袖着付け展示、実習、帯しめの締め方とタオルの補整について	
	5	P113~129	日本髪の一部名称、高島田の展示/着物の季節、ヘアセット実習	
	6		ゆかた着付か留袖着付、ヘアセットをして撮影	
	7	P144~161	帯の種類/振袖着付/男子礼装/女子袴について学習、レポート提出	
	8			
	9	P161~168	和装、西洋花嫁の説明/筆記試験	
	10	P170~178	3回に分けてヘアセットと留袖着付技術試験と撮影	
	11		☆振袖ができる方は振袖着付でもかまわない	
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	美容技術理論2			
参考書等	着付の技			
成績評価の方法・基準	20%は着付け理論の評価。60%は着付け技術の評価 20%は出席状況、授業意欲、授業態度			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択課目」に該当 ・免許状保有状況 美容師免許保有 ・実務経験 専門学校非常勤講師歴4年 			

シラバス（美容師養成科）

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	杉本 奈緒実
美容科2年生 ヘアスタイリストコース	選択科目	2単位(60)	授業方法(講義・演習・実験・実習の別)	実習
科目名	色彩論Ⅱ(ジェルネイル)	単年・継続の別		継続
授業到達目標 及び テーマ	ジェルネイルの正しい知識、技術を学び、ジェルネイル検定初級合格を目指す。 トータルビューティへの意欲向上			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		ネイルケアの見直し。ジェル検定の流れの説明。実習	
	5	P16～23	ジェルネイル概論。アートの練習。実習	
	6		実習。タイムトライアル	
	7		フットネイル実習	
	8			
	9		実習。タイムトライアル。実技試験・筆記試験	
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	JNA TECHNICAL SYSTEM ～GEL NAIL～			
参考書等				
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・検定の合否 			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三「選択科目」に該当 ・免許状保有状況 ・ネイリスト技能検定1級、ジェルネイル検定上級、ネイルサロン衛生管理士、フットネイル検定 ・実務経験 ・ネイリスト実務経験(14年) 			

